

Title	第五十二卷自第七号至第十二号総目次：昭和三十四年下半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1959
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.52, No.12 (1959. 12) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19591201-0079

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十二卷

至第十七号 総目次 (昭和三十四年下学期)

論 説

啓蒙期の社会主義と道徳哲学——特にモレリイとマブ リイを中心として	平井 新	七号 一 五六九 通頁
イギリスにおける社会民主主義の形成過程(その一) ——ヴィクトリア中期—資本主義の相対的安定期— における社会民主主義の性格形成について	飯田 鼎	一七 五八五
一八九一一三年のプロイセン税制改革——帝国主義形成期における ドイツの財政政策(2)	大島通義	三五 六〇三
勤学的国際資本移動理論	大宮僕一	五三 六二一
昭和年代始期の財政学の転換過程に於ける若干の疑問 ——現代財政学の前提段階の回顧	高木寿一	一 六七一
Liberi homines, centena et centenarius.	宇尾野 久	一五 六八五
産業別・規模別分配率再論——産業スペクトル論序説	西川俊作	三八 七〇八
わが国対東南アジア経済協力の新段階	山本登	一 七四九
経済余剰と経済成長	大西 昭美	一二 七六〇
社会民主主義と労働階級獨立化理論	丸尾直美	三〇 七七八

現代社会における大企業	青沼吉松	一	八三一
余暇・所得選好場と変位の計測	小尾恵一郎	一	八四六
近世農政思想の一考察——幽谷を繼承した人々	島崎隆夫	一	九三五
鉄鋼業生産函数の計測	岩田曉一	一	九五〇
『精神現象学』の疎外論	遊部久蔵	一	一〇一三
封建領主制確立期における浅野氏	宇尾野久	二五	一〇三七
レウデス考	速水融	四〇	一〇五二

資料

英國六産業における企業合併の諸効果			
—P. L. Cook and R. Cohen; "Effects of Mergers"	北原勇	七二	六四〇
ディーヴェル・ボーム論争(一)	持丸悦朗	九四	七九二
ドイツ社会運動史にかんする最近の資料(その二)			
—社会主義鎮圧法の時期におけるドイツ社会民主黨の闘争—帝国委員会の活動—について	飯田鼎	七	八六二
一七世紀末ニュー・イングランドのタウンについて	中村勝己	十	三一
—サフィールド(マサチューセッツ)の場合	吉田精司	四八	八七八
マスグレーヴの予算決定の総合理論	白井厚	六〇	八九〇
ウィリアム・ゴドワイン研究文献(一)	持丸悦朗	七一	九〇一
ディーヴェル・ボーム論争(二)		八一	九一一

学界展望

一九〇五—一九二一年のドイツ社会民主党史	正田庄次郎	十一	三七	九七一
—Schorske, Berlauの二つの研究書より—				
太閤檢地をめぐる最近の研究動向	速水融	八	五四	七二四

書評及び紹介

A・H・ラザーシュエフ著『ペテルブルグからモスクワへの旅』	野地洋行	七	八九	六五七
渋谷一郎訳『ジャック・ドゥニー著競争的過程』	原豊	七	九四	六六二
B・C・ロバーツ著『労働組合會議——一八六八—一九二一』	飯田鼎	七	六九	七三九
平出宣道著『近代資本主義成立史論』	中村勝己	七	五二	八〇〇
麻生久伝刊行委員会『麻生久伝』	飯田鼎	七	五五	八〇三
ハンス・ヴィルグラー著『古典学派批判者としてのマルサス』	白井厚	七	六二	八一〇
儀我壯一郎著『現代中國の企業形態』	飯田鼎	七	六七	八一五
高村象平監修『日本塩業史』	平野絢子	七	九一	八一九
真実一男著『機械と失業——リカアドウ機械論研究』	宇治順一郎	九一	九二一	九二七
T・シトフスキ著『経済理論と西欧經濟の統合』	井村喜代子	九七	九二七	九二七
三田学会雑誌 総目次				

- カール・ハインツ・ライディヒ・カイト著
『ドイツ労働運動におけるヴィルヘルム・リープクネヒトとアウグスト・ベルベル』 飯田 鼎
- エリザベス・アイゼンスタイル著
『最初の職業的革命家 フィリップ・ミッケル・ボナロッティ——伝記的評論』 飯田 鼎
- 平田隆夫著『社会保障』 飯田 鼎
- ロジェ・ガロディ著『疎外論』 飯田 鼎
- K・K・クリハラ著『経済発展のケインズ理論』 飯田 鼎
- ブランコ・プリビチエヴィッチ著
『職場委員会運動と労働者の管理、一九一〇—一九三二年』 飯田 鼎
- F・ゲー『十八世紀ベリにおける生産・価格・土地の収益性』 渡邊國廣

十一 五一 九八五
十一 五五 九八九
十一 五九 九九三
十一 六四 九九八
十一 六九 一〇〇三
十二 六三 一〇七五
十二 六九 一〇八一